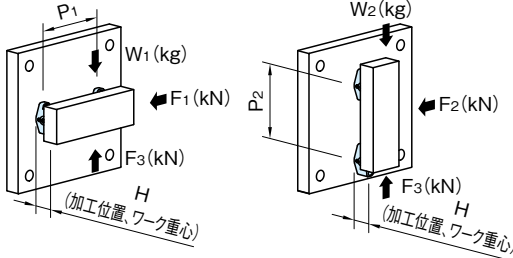


P. 1500 ～ プルフィックス(フックタイプ) 許容加工負荷・許容ワーク重量

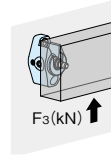
下表の計算式より、加工負荷及びワーク重量が許容値内であるか確認してください。

なお、本ページで算出される計算値はプルフィックス本体の強度のみですが、実際の加工は治具全体の剛性とワーク剛性にも大きく影響されます。下記の数値には、これらの治具剛性やワーク剛性は加味されておりませんので、あくまで目安として適切な加工条件の設定にご利用ください。

2個で使用する場合



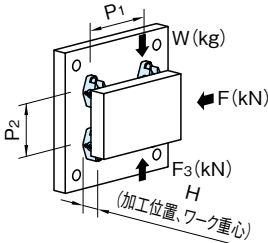
注意事項



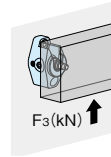
構造上、ワークを取外す方向に強い負荷がかかる加工はワークがずれる恐れがあります。

サイズ	許容加工負荷				許容ワーク重量		
	F ₁ (kN)	F ₂ (kN)	F ₃ (kN)	最大値 (kN)	W ₁ (kg)	W ₂ (kg)	最大値 (kg)
CP160-08040	$(0.24P_1 + 432)/H$	240/H	$(0.9 \times 2) + (W_i \text{ 又は } W_2 \times 0.01)$	3.2	$240 \times 100/H$	$(0.24P_2 + 432) \times 100/H$	320
CP160-12063	$(0.50P_1 + 900)/H$	500/H	$(1.7 \times 2) + (W_i \text{ 又は } W_2 \times 0.01)$	6	$500 \times 100/H$	$(0.50P_2 + 900) \times 100/H$	600
CP160-16080	$(1.00P_1 + 1800)/H$	1000/H	$(3.6 \times 2) + (W_i \text{ 又は } W_2 \times 0.01)$	10	$1000 \times 100/H$	$(1.00P_2 + 1800) \times 100/H$	1000

4個で使用する場合



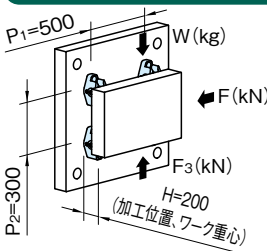
注意事項



構造上、ワークを取外す方向に強い負荷がかかる加工はワークがずれる恐れがあります。

サイズ	許容加工負荷			許容ワーク重量	
	F (kN)	F ₃ (kN)	最大値 (kN)	W (kg)	最大値 (kg)
CP160-08040	$2 \times (0.24P_1 + 432)/H$	$(0.9 \times 4) + (W \times 0.01)$	6.4	$2 \times (0.24P_2 + 432) \times 100/H$	640
CP160-12063	$2 \times (0.50P_1 + 900)/H$	$(1.7 \times 4) + (W \times 0.01)$	12	$2 \times (0.50P_2 + 900) \times 100/H$	1200
CP160-16080	$2 \times (1.00P_1 + 1800)/H$	$(3.6 \times 4) + (W \times 0.01)$	20	$2 \times (1.00P_2 + 1800) \times 100/H$	2000

計算例



- ・CP160-12063R/L (受け高さ63mm)
- ・計4個配置
- ・取付けピッチ
- ・P₁=500mm
- ・P₂=300mm
- ・加工負荷位置 ワーク重心 H=200
- ・F方向加工負荷 5kN
- ・F₃方向加工負荷 5kN
- ・ワーク重量 500kg

<許容加工負荷Fの算出>
 $F = 2 \times (0.5 \times P_1 + 900) / H$
 $= 2 \times (0.5 \times 500 + 900) / 200$
 $= 11.5 \text{ kN}$
 ※加工負荷5kNは
 計算値(11.5kN)以内である。

<許容ワーク重量Wの算出>
 $W = 2 \times (0.5 \times P_2 + 900) \times 100 / H$
 $= 2 \times (0.5 \times 300 + 900) \times 100 / 200$
 $= 1050 \text{ kg}$
 ※ワーク重量500kgは
 計算値(1050kg)以内である。

<許容加工負荷F₃の算出>
 $F_3 = (1.7 \times 4) + (W \times 0.01)$
 $= (1.7 \times 4) + (500 \times 0.01)$
 $= 11.8 \text{ kN}$
 ※加工負荷5kNは計算値(11.8kN)以内である。